

- 平成27年度より、地方公共団体における大規模修繕・更新を集中的に支援するため、補助事業を創設。
- 地方公共団体が進める老朽化対策に向けて、大規模修繕・更新に対する支援を実施。

対象事業

①修繕

橋脚の補強など、補修補強により性能・機能の維持・回復・強化を図るもの



床版の増厚

②更新

橋脚の架替など、再施工により性能・機能の維持・回復・強化を図るもの



架替の実施

③集約化・撤去

同一路線の複数構造物の性能・機能を一部に集約するため①・②に伴い実施する構造物の撤去



橋梁の撤去

特徴

- ・国庫債務負担行為制度（4箇年以内）活用可能
- ・個別の事業毎に採択するため、課題箇所に確実に予算が充当

事業要件

- ・都道府県・政令市の管理する道路の場合

全体事業費	修繕	10億円以上	→	5億円以上※
	更新	50億円以上	→	35億円以上※
- ・市区町村の管理する道路の場合

全体事業費	修繕	3億円以上	→	1億円以上※
	更新	3億円以上		

※平成31年度より事業要件を緩和

事業の実施例（市町村管理の橋梁修繕）

全景(手前側橋梁)



ゲルバーヒンジ部 損傷



橋脚 断面欠損と鉄筋露出

完成年度	1935（84歳）	補助化年度	H27
判定区分	Ⅲ（早期措置段階）	全体事業費	698百万円
橋長	353m		

公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）の概要（道路事業）

制度概要

地方公共団体において道路の適正な管理を推進するため、補助事業や社会資本整備総合交付金事業と一体として実施される地方単独事業（長寿命化事業）について、地方財政措置を講じるもの

対象事業

- ・ 舗装の表層に係る補修（例：切削、オーバーレイ、路上再生等） ※簡易アスファルト舗装（全層）を含む
- ・ 小規模構造物の補修・更新
（例：道路照明施設、道路標識、防護柵、防雪柵、側溝、機械設備、小型擁壁、カルバート（大型を除く）等）
- ・ 法面・斜面の小規模対策工（例：落石防止柵、植生工、モルタル吹付工、排水工、土留工等）
- ・ 橋梁の修繕 ※一定規模以下のもの

※下線部分が2019年度拡充



<舗装のオーバーレイ>



<防護柵の取替>

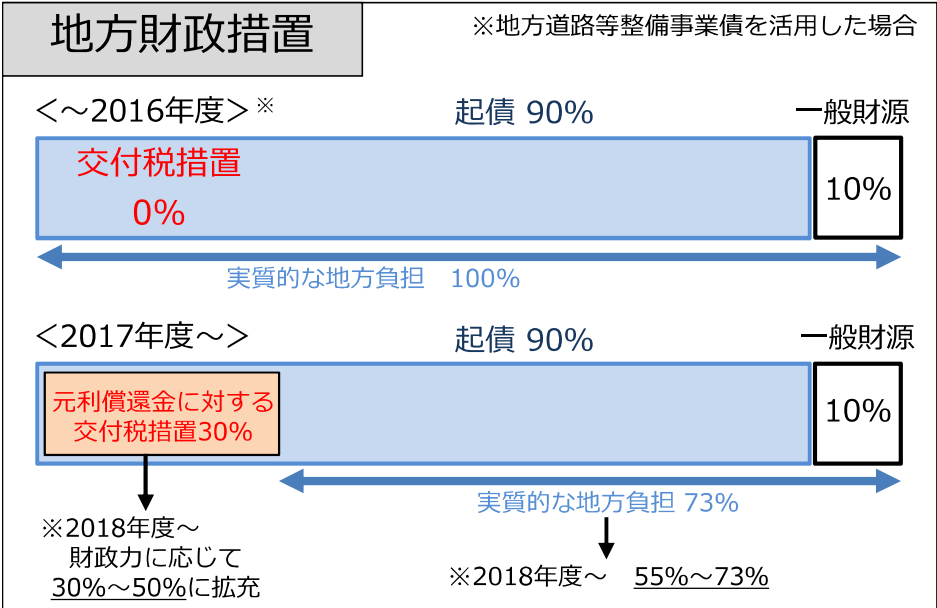


<落石防止柵の取替>



<橋梁の修繕>

※期間は2017年度から2021年度までの5年間



公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）

スケジュール

資料3-2

H31年度 予定

2/7～3/1
予定調査
(事前)



4月初旬～
予定調査



5月中旬
予定額通知



事業実施
起債手続

追加調査については
別途調整

H30年度 実績

2/7～2/23
予定調査
(事前)



4/4～4/20
予定調査



5/20
予定額通知



事業実施
起債手続

8/7～8/31
予定調査
(追加)



10/31
予定額通知

○平成30年度北陸地方整備局の橋梁・シェッド定期点検において下記の「点検支援新技術」を活用。
地方公共団体による積極的な活用を図ることを目的に、活用状況の動画を公開。

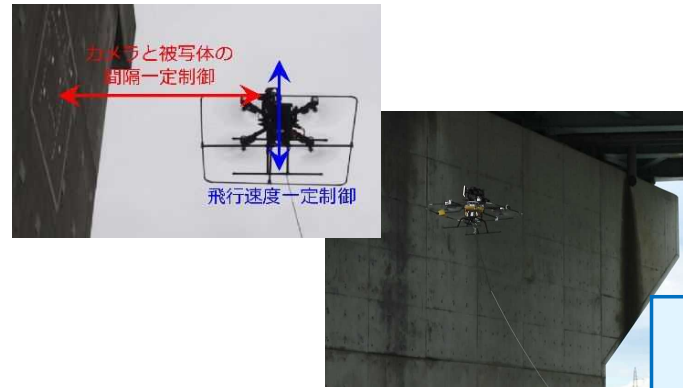
①コンクリート構造物変形部探知システム

- ポール先端の装置（ハンマー内蔵）による打撃時の反射波から損傷判断。
- 労働災害の軽減、点検レベルの平準化を図る。



②マルチコプタ点検システム

- UAV搭載カメラの撮影画像から損傷判断。
- 労働災害の軽減、点検レベルの平準化を図る。



北技YouTubeチャンネルにて動画を公開中



③懸垂型 橋梁点検支援ロボット

- 歩道から伸ばしたアーム先端の赤外線カメラやクラックゲージ等から損傷判断。
- 労働災害の軽減、点検レベルの平準化を図る。



④ポール打検機

- ポール先端の打検機による打音から損傷判断。
- 労働災害の軽減、足場コストの縮減を図る。



動画はこちら



動画はこちら



雲書・除雪記録
映像アーカイブ

YouTube 北陸技術事務所
Channel
北陸技術事務所公式チャンネル